

ソーシャルにながれて通信

ソーシャルプランニング流 広報誌 創刊号



西区コミュニティ育成事業について P 2～P 3



就労創造センター せふいろと
就労継続支援A型 P 6～P 7



共生労働センターカサンドラ
就労移行支援について P 8～P 9

株式会社ソーシャルプランニング流

【理念】

「人と人とが支えあう協働のソーシャルワーク」

【運営方針】

- 自己実現
誰しものが自己実現できる社会に
- 社会貢献
社会的に価値のある事業展開
- 創造と発展
新しい発想でより良い社会の創造と発展に寄与する



平成25年度 ソーシャルプランニング流 新事業について

株式会社ソーシャルプランニング流

代表取締役 藤井 健

いつもお世話になります。

私は平成6年から平成19年にかけて大阪市西区で精神保健福祉関係の業務につき

平成19年 障害者自立支援法の実質的運用開始とともに業務を辞めました。

その西区での最終作業が西区障がい者・児ネットワーク「そよかぜ」が主催する

「そよかぜまつり」の第一回目実行委員長です。

西区地域の方々非常に世話になりましたが、辞めることによって色々な気持ちが交錯しながら、各地を彷徨っていたような日々を過ごしていたと振り返ります。

数年後西区に戻ると決意して(?)浪速区の桜川に取り憑きました。それが「就労創造センターせふいろと」です。

さて平成25年、今回新しい事業として「西区コミュニティ育成事業」というものが急に西区の知人より連絡があり入札に参加してみないかと色々悩みましたが、障害者福祉の変革を望むならばやるしかない、同時に覚悟の問題だなと感じました。

コミュニティの育成?とは、地域活性化か?名前の意味をよくよく考えるとだいそれた事業だなと、できるのか?と思いつつ、

各会合に出席すると知った人達が多くおられた。「そよかぜまつり」でお世話になった地域役員方々であゝ何か社会が揺れ動く感じがした。

高杉晋作の言葉で「面白きこともなき世を面白く 住みなすものは心なりけり」があり

私なりの解釈ですが、なんか面白くない社会のなかで面白いを目指したい、また住み良くするのも人次第。ということでこの一年、社会的企業(ソーシャル・エンタープライズ:いつのまになったんやと皆思うかも?)として踏ん張る年になるかなと社員一同頑張っしてほしいと願う。毎年、シンドくさしてゴメンね・・・



張り切って西区民センターの木を切る藤井



代表取締役のあいさつでもあったように、今年度から「西区コミュニティ育成事業」をすることになりました。この事業は、西区を、祭りやイベントを通して活性化していくものになっています。運営などの裏方業務のほかに、せふいろとの職員・メンバーが地域のためにできることを考え西区の応援をしているのが【どげざや】です。

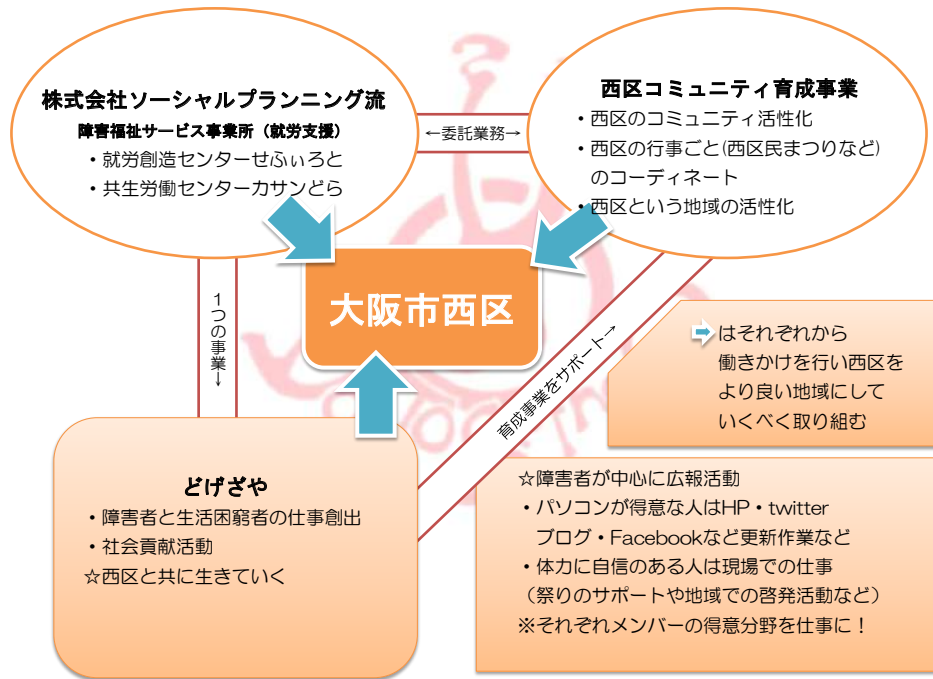
現時点では、西区がどのような地域なのかを知るために、地域を巡回し、少しずつ地域にとけこんでいくことから始めています。

そこで得た地域の情報をブログなどで発信しています。

また、最近では西区民センターの清掃などにも取り組みました。これからも、「地域のためなら土下座でも何でもします」をコンセプトに大阪市西区の活動を定期的にアップロードしていきます。

西区コミュニティ育成事業を応援する

【どげざや】 図解



【どげざや】 名前の由来 1

どげざやは、西区のためなら土下座でも何でもします。
 という意味が込められています。
 また、便利屋の側面も兼ね備えており、地域のためならば何でもします。
 というくらいより良い西区のために頑張ります。

【どげざや】 名前の由来 2

どげざやは (Do Together →一緒にしよう！) という造英語から来ています。
 今後、西区という地域に根差し地域と一緒に生きていくという意味が込められています。



このように西区を練り歩いています。



このユニフォームが目印！



どげざやロゴ

どげざやの活動記録はこちらで！→

- * ブログ nishiku249von.blog.fc2.com
- * youtube <http://www.youtube.com/user/nishikucom>
- * twitter <https://twitter.com/nishikucom>

Zuboranian's Wake (2)

ズボラニアンズ ウェイク

坂根匡宣

～ひゅーくりっど～

ユークリッド幾何学の平行線公準「1つの線分が2つの直線に交わり、同じ側の内角の和が2直角より小さいならば、この2つの直線は限りなく延長されると、2直角より小さい角のある側において交わる（第5公準）」。

逆に内角の和が2直角（＝平行）ならば、直線は永遠に交わらない。簡単にいうと平行線は交わらないと言ってるだけ。

幾何学における「公準」というのは、当たり前の前提みたいなものなのだけでも、こんな数学の難しい話しは実はどうでもいい話し。今回伝えたいのは、僕の生き方、考え方は他の人たちとは違うし、他の人たちも、それぞれ生き方や考え方が違う。せふいろとで働いているといろいろな人を支援し関わる。そして僕は一旦関わった人たちとは一緒に生きて気持ちは交わりたいなと思っているのだけでも、人と人ってそれぞれ違うからいつも関係は必ず平行線のように交わることはない。逆に関係を交わせようと思うのも、僕の自分勝手なエゴで傲慢なことだと知っているの、なんだか複雑だけでも気分的にはいつも寂しくおもう。

もとい、このユークリッド幾何学の平行線公準というのは、昔々からたくさんの議論や証明があって、近代には価値観の大転換も重なって、平面上でも平行線は交わるという幾何学が登場したそう。それを非ユークリッド幾何学というらしい。その幾何学では、「平行線も無限遠点においては交わる」らしい。

そういえば、地球上の子午線も北極点や南極点で交わっているものね。「公準」っていうのも所詮人がつくった覆しうる前提ではない。

この話しから得た教訓としては2つあって、まず、人と人との関係性はずっと平行線のように感じるけども、「無限遠点において交わる」と考えて、僕と他の人たちの人生の無限遠点を思い描きながら、いつかは違う人どうしわかり合えるはずだと思って関わるのが大切なのかなということ。

そして次に社会規範とか常識などあたり前だと思っている前提（公準？）なんて、実は根拠は微妙だったりするものだ。結局、社会規範とか常識は社会生活でわかり合える安心を得たいがための人々のエゴの塊りに他ならない。人と人とは違うから、まずは自分の持ってるあたり前を捨て、わかり合える安心より、わかり合う無限遠点をみようとする意志が大切なのだろう。

ちなみに、古代ギリシャ人や古代エジプト人の中には、生涯を平行線は交わるのか交わらないのかとか数学的なことを日々考えるだけの生活を送ったたくさんの人たちがいて、そんな人達が街中に溢れて酒を呑み交わしながら議論していたんだろうな～。それはとっても幸せな社会だと思うのは僕だけだろうか。。。

・次回は「こうぞうか」の話しへ続く。

未知の音は明日の道 2

加藤吉樹

最近はお自分のCDを作りたくて録音をしています。CDと言っても本格的なものではなく、自己紹介的な簡単なものを作ろうと思っているので、自宅のあり合わせの機材でやっています。やってみると、思っていたよりも意外に難しいことが多く、なかなか進みません。そこで今回はそんな中、気づいたことを。



アラブの民族楽器「ウード」

まず、マイクに向かって一人で弾きます。そして演奏後すぐに、いま録音したものがどうだったのかを聴きなおします。そこで、感じるのが自分の演奏に対する違和感です。自分が弾いているときにイメージしていた音と、実際に録音された音とのギャップ。

それは一体何なんだろう。

とにかく納得いく演奏を収めたくて、聴いては弾き直し、というのを何度も繰り返しているうちに見えてくるものがありました。自分がイメージしているつもりになっているけど、実は何も考えずに漫然と出してしまっている音の存在です。

もし出す音に対するイメージがあれば、その時は出来ていなくても、何とか工夫してその音に近づけていくための練習をして、時間がかかってでも近づけていくことができます。しかし、それ以前にはっきりとしたイメージなしに漫然と音を出してしまっているのでは、どう頑張っても完成させることができません。

もう一度振り出しに戻って、取り組んでいる曲に対しての理解を深めていくところから始めます。どういう道筋を立てていくと面白く聴かせることができるか、音色や強弱、速さ、長さ、息継ぎの場所、ノリ、その他諸々。場所によってはあえて厳密には決めず、その場のインスピレーションを大切にしたいほう良さそうなところも。

そしてまた録音しては聴きなおし、考え、また録音、と延々と繰り返して、自分が発している音の細部にまで神経を巡らせる作業をしています。なかなか完成しません。いつかケリをつけないとなあとありますが…

音を出す瞬間って一瞬なので、考えながら音を出しては遅いんですね。さっきの話と矛盾するようですが、考えながら出している音って鈍くて魅力がないんです。感覚を磨いて、瞬時に最高の色を出せるようにならないと。

音の旅はどこまでも続いていく……。

加藤吉樹のライブ情報はこちらのブログから。

「加藤吉樹のウードの奥の音」

<http://yoshikioud.blog115.fc2.com/>

就労創造センター せふいろとの活動

～ 就労継続支援 A 型 ～

- 1.ICT Work(Web 制作)
- 2.Movie Work(動画制作)
- 3.Outdoor work(野外活動)

ICT Work Web 制作

S P 流は、ホームページ制作を請け負っています。

せふいろとは、施設外で働くメンバーさんの他に、事務所内で Web 制作などの業務をされている方がいます。

自社の Web 制作はもちろんのこと、自閉症協会から頼まれている H P の更新作業にも取り組んでいます。

2012 年 9 月からは新たに「SAI INDUSTRIES」と業務提携を始めました。

また、「WEB 訓練と就労の創出を図る事業」として WEB 制作訓練を受けているメンバーさんを対象に、就労できる知識や技術を身につける訓練プログラムもあり、月 2 回共生労働センターカサンドラにて行っています。

Movie Work 動画制作

せふいろとで動画制作の依頼を受けた案件を紹介しています。主に大阪市西成区の各種施設の紹介 PR 動画が多いですが、実際に動画制作の依頼を受けまして、制作前の打ち合わせを重ねて、現場に行き、いくつかのアンクルから撮影していました。

撮影して帰ってきてから要望とされるシーンを繋げて、動画の再生時間内に必要な情報を入れ込む編集を行なっています。また、Youtube へのアップロードまで一貫して動画を扱っています。(高橋精将)

制作実績の一部を紹介



Voice of Nishinari- 西成の声 -
<http://vonishinari.net/shadooon/>



自閉症協会 HP 更新もしています。
<http://autism-osaka.org/>

せふいろとでは、様々な取り組みを取材しています。

- 西成 LOVE フェス 2012 告知動画
- 天下茶屋にしなりウォーク 2013 & ロコモ EXPO
- 大阪通天閣のイベント：ツムテンカク 2012 紹介動画
- 西成 LOVE フェス 2012 ダイジェスト版紹介動画
- なにわともあれ☆ねっとの取り組み紹介動画 etc..



* 就労継続支援 A 型とは・・・

企業などで就労することが困難な障害者に、雇用契約に基づく就労の機会を提供する、就労継続支援事業。事業所での作業を通じて、知識・能力の向上を図り、一般就労に向けた支援を行う。

* 施設外就労とは・・・

事業所から離れた場所で就労すること。現在、せふいろとは事業所の他、西成区・西区に働き場所を持っている。

Outdoor work

野外活動

放置自転車禁止区域にて駐輪されようとしていらっしゃる方々に対し、近隣の公共の駐輪場に駐輪して頂けるようにお声かけや放置自転車の整理・啓発する業務を行なっています。一年を通して、雨の日や寒い日・暑い日関係なく毎日7:30から11:00まで、立ちっぱなしで管理区域を巡回しています。また、我々独自で放置自転車の台数を定期的に計測していて、動態調査も行なっています。朝早かったり、啓発に対して文句を言われたりと体力面・精神面共に大変な作業ですが、一生懸命頑張っています。



黄色い帽子とベストを着用し、活動しています。

担当エリア その1

花園町駅

花園町駅にはファーストフード店とコンビニの店先に地下鉄への出入り口が有ります。そのまま地下鉄を利用される方が多く、位置的に利便性が良いので自転車を放置される方が多くなりそうなポイントとなっています。



花園町駅周辺

担当エリア その2

天下茶屋駅

天下茶屋駅にはコンビニとファーストフード店が有り、短時間の放置自転車が多くなる傾向が有り、その都度啓発しまして近隣の公共の駐輪場へ案内させて頂いています。



天下茶屋駅周辺

担当エリア その3

岸里駅

岸里駅では区役所と言う立地上来庁者が多く、また、地下鉄岸里駅の直上と言う事で以前は区役所周辺にて自転車を放置されて地下鉄へ向かわれる方が多く居ました。今現在では啓発の効果が出始めていて徐々に放置自転車の台数が確実に減りつつあります。定期的に区役所を訪れる来庁者さんから「最近区役所の周りが歩きやすくなりましたね。」とのご意見も頂けるようになりました。



岸里駅周辺 西成区役所

Voice of Nishinari –西成の声– (VON) とは



ゴミはちゃんと持ち帰ろう！通行人に注意！

VONは、西成区での仕事づくりの一環として、生きづらさをかかえた当事者(生活困窮者)が防犯・見守り・清掃などのボランティア活動を行っています。現在はせふいろとメンバーが中心となり、10時から13時までの間、西成区(花園~岸里)を巡回しながら清掃や地域の見守り活動を行っています。

西成区はたばこの吸い殻や空き缶、ビンなどのゴミが多くあります。清掃を行っている時、市民の方々からは「ご苦労様」「きれいにしてくれてありがとう」などの声をかけていただくこともあり、その効果を実感しています。



紹介事例1 ー就労移行の支援方法についてー

27歳 男性 精神3級（平成18年手帳取得） 自閉症情報専門学校を卒業しパソコン資格を取得。
現在、5年間宅配業の軽作業を週5日3時間で夜間にパートで働いている。

まず、本人と支援者が面談で本人が希望することを目標に設定します。この方の希望は、パソコンを使った仕事をして、今やっているパートの足しにし生活費の足しにしたいと考えて、昼の福祉的就労を探していました。

地元のB型などは見学しましたが、給料面や雰囲気は合わず。就労継続支援A型に来られたが併用が難しいため併用の実績がある就労移行を併用利用することになりました。

就労という目標を持つことは、訓練を実施していく為の内発的動機づけになったと捉えています。次に、本人の希望を基に客観的役割を一緒に考えて作ります。利用当初からかなり勉強熱心で、パソコンのスキルもありました。

よって連携企業から委託されているホームページの更新依頼や作成、管理等の課題を取り組むことになりました。

就労に近い実践をすることで就労能力と意欲の向上を図りながら、就職するイメージが持てるようになって考えています。

最後に、本人が社会から求められている役割を理解する為に、第三者や不特定多数の人との関わりを持つことをしています。具体的には公園の清掃やメディア配信などを通じて、社会貢献活動に近いようなことも行っています。このように本人が希望する役割と事業所が与える役割、加えて本人や事業所以外が、必要としている役割をそれぞれ理解することで、就職するだけでなく長く継続できる仕組みを作る支援方法を実施しています。



カサンドラでの取り組みの様子

・就労移行支援とは・・・

企業などへの一般就労を希望し、知識・能力の向上、実習、職場探し等を通じて適正にあった職場への就労が見込まれる65歳未満の人に対して、事業所内での作業訓練や、企業等での職場実習、就職後の職場定着支援などを行う。



今回紹介した焼酎「三岳」はここから買えます！ <http://izuhopub.com>

旨い焼酎を定価販売できるように、焼酎の蔵めぐりをしていきますが、未だ「三岳」以外の有力な蔵からはOKを貰えていません。もともとつと、焼酎蔵に通い、各焼酎蔵の社長さんに信用してもらい、分けてもらえるように、粉骨砕身精進し、旨い焼酎を紹介いたします！！

紹介事例 2 ー就職に必要な考え方ー

50歳 男性

身体2種5級(先天)

精神3級 若年性アルツハイマー(高次脳機能障害)

ハローワークの紹介で一般就労(障害枠も可)を1年から2年かけて目指していました。理由は、アルバイトも継続しながら生活保護からの脱却と養護施設で暮らす孫娘を引き取りたいと強く希望されていたため、さらに働ける場所を探していたからです。

当初、本人の就職したい理由は個人的な理由に偏っており、仕事内容は実働業務中心で希望していました。そして、職業評価でジョブコーチ支援の要請を兼ねた会議を行い結果が出ていないことを含めて就職は難しいと考えていました。しかし、支援を行うなかで、本人は、ある程度生活保護を利用しながら徐々に収入を安定させたいと考えたことと、孫娘はこのまま施設で暮らして条件が整えば引き取ることを決めたこともあり、本人が望む就職と仕事の考え方がとてもシンプルにマッチングしたことにより就労に対する条件が整理されていき、就職が決定しました。

この事例は、自立をしたいという思いが先立っていた本人の気持ちの変化がキーとなっています。

共生労働センターカサンドラ



カサンドラでは、今回紹介した就労移行支援のほかに、就労継続支援B型の事業も行っており、一般就労がまだ難しいと考える方やパソコンを使っての就労を目指す方を中心に支援を行っています。



学んだことを事業所で復習しています！

・ジョブコーチ支援とは・・・

対象障害者がその仕事を遂行し、その職場に対応するため、具体的な目標を定め、支援計画に基づいて実施されるものです。

おすすめの焼酎紹介

伊豆文雄

はじめまして、伊豆と申します。

福祉の仕事は、全くの素人でございます。右往左往の日々を過ごしております。

本職は、焼酎のネット販売をしておりますが、縁あって、SP流でお世話になっております。本日は、この紙面をお借りして、本職のことを語らせて頂けるといことなので、張り切つて語ろうと思っております。

まずは、我がネットショップの屋号ですが、「いずほ酒店 のんべい酒場」と言います。ネットショップを開業して、まだ1年経っていない若輩者です。

いい焼酎を適正な価格(定価)で販売すれば、自ずと売上は上がるという考えのもと、一歩々々牛歩で進んでいますので、是非、ショップにお立ち寄り下さい。

そんな中、当店が他店に完全に優位に立っている焼酎があります。

その名は、「三岳(みたけ)」。屋久島の三岳酒造の芋焼酎で、焼酎界の人気No.1焼酎です。屋久島まで足を運び、三岳酒造の社長に直接お会いして、分けてもらうことに成功しました。

どうも、行ったタイミングが良かったようで、芋の搾りかすの処理施設が完成し、焼酎を増産できる体制が整った時期の訪問でした。

三岳酒造の社長さんも定価販売を望んでおられるので、当店も定価販売をしています。

SP 流トピックス

浪速区社会福祉協議会からの依頼
「ふくし学習」パンフレット作成しました！

★ふくし学習★ふくしの気づきプログラム

「ふくし学習」は、高齢者が、健康、生活、学習、社会参加などさまざまな課題について地域の中で学び、交流の場を創出する。地域資源を活用し、仲間、先輩、講師の力を借り、自ら学ぶことで、心身の健康を維持し、有意義な生活を営んでいきます。高齢者が学びの場を創出し、健康を維持していきます。

※2023年度は、以下のとおり開催予定です。

回	内容	開催日時
1	高齢者健康増進のための健康学習 講師：松田先生（大阪府立総合医療センター）	8月9日（水）
2	高齢者の生活と健康学習 講師：松田先生（大阪府立総合医療センター）	8月16日（水）
3	高齢者の生活と健康学習 講師：松田先生（大阪府立総合医療センター）	8月23日（水）
4	高齢者の生活と健康学習 講師：松田先生（大阪府立総合医療センター）	8月30日（水）
5	高齢者の生活と健康学習 講師：松田先生（大阪府立総合医療センター）	9月6日（水）
6	高齢者の生活と健康学習 講師：松田先生（大阪府立総合医療センター）	9月13日（水）
7	高齢者の生活と健康学習 講師：松田先生（大阪府立総合医療センター）	9月20日（水）
8	高齢者の生活と健康学習 講師：松田先生（大阪府立総合医療センター）	9月27日（水）
9	高齢者の生活と健康学習 講師：松田先生（大阪府立総合医療センター）	10月4日（水）
10	高齢者の生活と健康学習 講師：松田先生（大阪府立総合医療センター）	10月11日（水）
11	高齢者の生活と健康学習 講師：松田先生（大阪府立総合医療センター）	10月18日（水）

※2023年度は、以下のとおり開催予定です。

物品の貸し出し

- 車いす
- 高齢者疑似体験セット
- アイマスク、白杖
- 点字鐘

※各、お貸出しの欄にございます。

連絡先
浪速区社会福祉協議会 地域活動部
〒545-0051 大阪府浪速区幸町二丁目1番10号
TEL:6636-6027 FAX:6636-6028

FAX 送付状

FAX 6636-6028
（浪速 6636-6027）

浪速区社会福祉協議会 地域活動部 行

下記にお名前、希望するプログラム名の両方を明記し送付ください。

氏名	〒	住所	TEL

※お申し込みの際は、ご希望のプログラム名を明記し送付ください。
※申し込みの欄に「希望するプログラム名」を明記し送付ください。

みんなで作って
ふくし学習

浪速区社会福祉協議会



カサンどらのメンバーさんに
画像のデータ化を手伝っていただきました。



3DCG 版



《ともちゅん プロフィール》
身長：10cm
体重：72.0g
性別：オス
年齢：100歳
住所：浪速区幸町 せふうろとの樹
趣味：食べ歩き・浪速区紹介
好きな食べ物：串カツ

なにわともあれ☆物語 ゆるキャラ「ともちゅん」できました！

メンバーさんと職員が協働で制作したゆるキャラ「ともちゅん」が誕生しました。その契機は浪速区の「なにわともあれ☆ねっと」という団体にせふいろうとが加入したことが始まりです。第一回目の販売会は3月24日に行われた日本橋ストリートフェスタ。この日は天候にも恵まれて大盛況でした。他の事業所は、お菓子やパン、焼き芋などを売ってします。そこで、せふいろうでも何か作れないか？と考えた結果が、なにわともあれ☆ねっとのオリジナルキャラクターと、物語を作つて、団体の広報に貢献していきこうということでした。

物語からキャラクターが生まれ、メンバーさんの手によってラフ画がデータ化されていき、完成しました。これからソーシャルに羽ばたいていくことでしょう。そのための計画は現在進行中で、メンバーさんの得意なことを生かし、独創的なアイデアで作品がうまれていきます。3Dアニメーションで動きを入れたものや、大阪市浪速区の文化やいいところを紹介していくような物語を、職員が考えた原稿をもとに、メンバーさんがアレンジを加えたりしています。

「なにわともあれ☆ねっと」とは・・・浪速区社会福祉協議会の協力のもと、障害者作業所が集まり、地域で販売会を行っています。

特定非営利活動法人

福祉リカバリーセンター 紹介

ソーシャルプランニング流は、長居(住吉区)のほうに連携事業所を持っています。実は、この事業所の創設者・真鍋さんはSP流の藤井健と古くから関わりがあり、せふいろが入っているビルのオーナーでもあります。現在では共生労働センターカサンドラと協力して、内職作業を仕事としています。このように、繋がりのあるリカバリーセンターへ、広報担当 富田が様子をウォッチしてきました！

設立の経緯は？

福祉リカバリーセンターの創業者 真鍋さんは、中途障害を負い、リハビリの一環として長居スポーツセンターに通っていました。そこで、自分の障害と向き合ううちに、同じように中途障害を持つ仲間が集える場所として身体障害者作業所を設立しました。創設者の真鍋さんが高齢により代表理事を退いた後、現在ではSP流代表の藤井健が福祉リカバリーセンターの代表理事をつとめています。

作業内容は？

内職が主です。種類はさまざまで、介護用のシーツや医療用の指サック、100均で売られている包帯やビニールパックなどがあります。

内職作業で大変なことは？

納期があることもそうですが、商品の個数・重さがちゃんと合っているかの確認作業をしっかりしないといけないことです。確認作業を怠ると、ミス商品が出回りお客様からのクレームに繋がります。そのため、検品作業にはかなりの注意を払っています。



はかりを使い、検品中...

どんな人たちが通っているの？

利用者は8人。年齢はバラバラで、30代～70代の人があります。

脳出血・脳梗塞・不慮の事故などで入院し、その後遺症で身体に障害が残った人が主に通っています。身体が不自由でも、介護されるだけでなく、まだまだ働きたいという想いを持つ方が通っています。



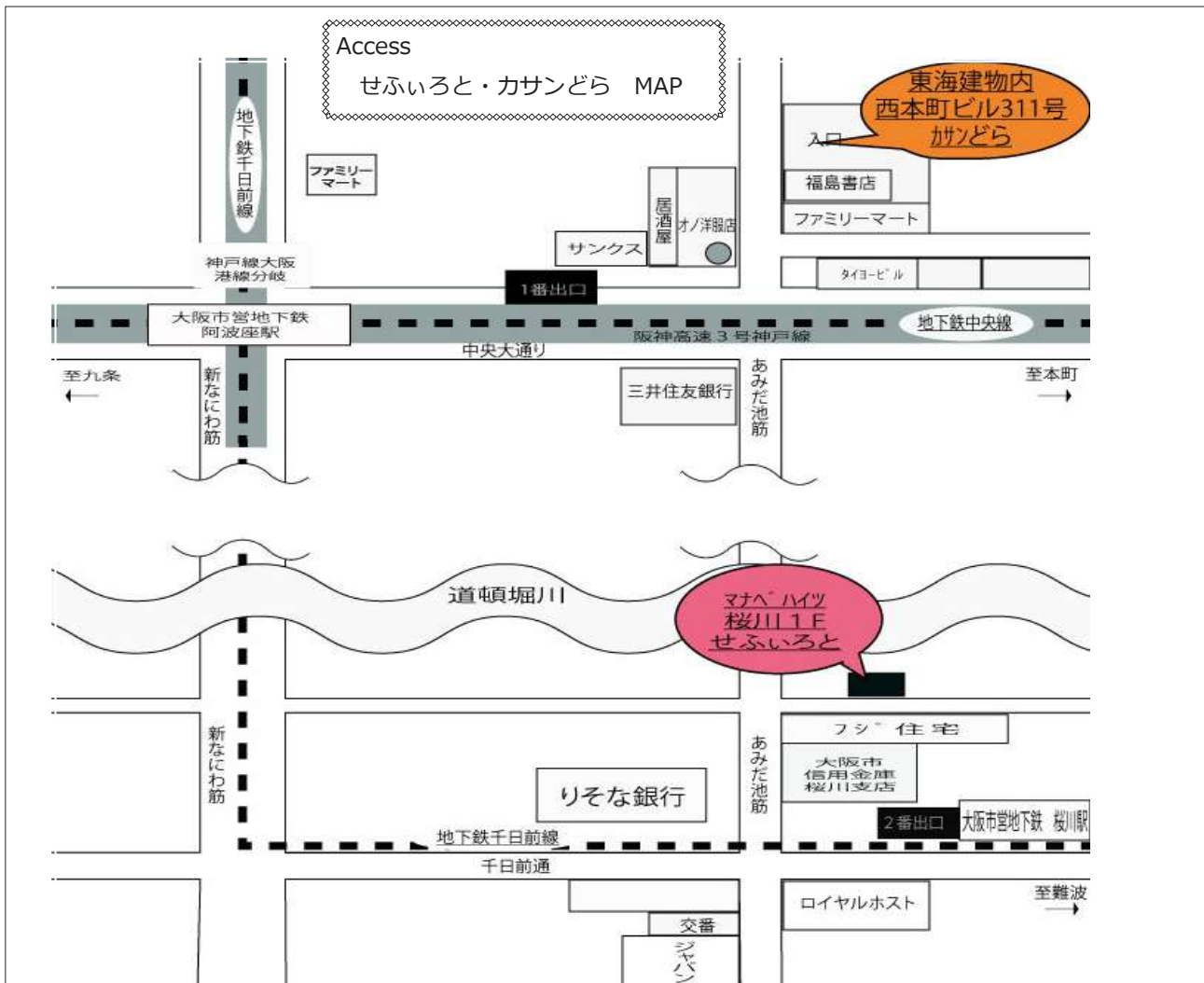
通っていてよかったことは？

- ・内職は、手先を使うのでリハビリにもなり、自分のできる事を行っているので、一人ひとりに役割ができてきます。
 - ・高齢になると、身体機能は衰えてきますが、働ける場所があることで、いきいきとした生活が送れると思います。
- 実際、ケアホームからこの作業所に通うことで、以前と比べて笑顔がでるようになったという利用者さんも在席されています。

特定非営利活動法人 福祉リカバリーセンター 〒558-0002

大阪市住吉区长居西2丁目13番23号 グランビルド長居 103号

電話・FAX：06(6691)3334 <http://www.sp-nagare.com/recovery/>



株式会社 ソーシャルプランニング流 <http://www.sp-nagare.com/>

《社会福祉サービス事業部・営業部》

- 就労創造センターせふういと（就労継続支援 A 型）
 - 〒556-0021 TEL：06-6562-7735
 - 大阪市浪速区幸町2丁目4-15 マナベハイツ桜川1F メール：sephiroth@sp-nagare.com
- 共生労働センターカサンドラ（就労継続支援 B 型 就労移行支援）
 - 〒550-0005 TEL：06-6535-7300
 - 大阪市西区西本町2丁目5-19 東海建物西本町ビル311 メール：kasandora@sp-nagare.com

徒然なるままに
【編集後記】 富田森絵

5月病というものは怖いですね。私が今年
の目標として掲げた「流」というフレー
ズ通り、時に流され、もう6月になって
しまいました。もう少しでこの会社に
入って1年経つことになりました。私はこ
の場所が初めての社会人経験なので、周
りは人生の先輩ばかり。教えてもらうこ
とも多いです。上司からダメだしを受け
ている日常を見ていたメンバーさんから
「富田さん、怒られてるのは取り組み方
の部分」「それだけ怒られるのは幸せな
こと」と教えてもらい、改めて頑張ろう
という気持ちが湧いてきたこともありま
す。そしてもう一つ印象に残っている言
葉が、私が仕事が出来ないことに悩んで
いる時「いきなり本格カレーを作ろうと
して悩んでいるように見える。今、冷蔵
庫にあるもので料理を出していけばいい
んじゃないかな」と言われ、まずは自分
ができることをやっていけばいいの
か、と腑に落ちる感覚がありました。この広
報誌でも、同じようなパターンにはまっ
ていたので、周りの力を借りていい料理
を出せるようにしていこうと思います。